

学制改革期の学年年表

卒業回数	入学・卒業年次	S 15 ^年	S 16	S 17	S 18	S 19	S 20	S 21	S 22	S 23	S 24	S 25	S 26	S 27	S 28	
		4月								4月 10月15日	綜合制・男女共学・小学区制実施					
三中 36 回	S 15 年入学 S 20 年卒業	三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 三中 5														
三中 37 回	S 16 年入学 S 20 年卒業		三中 1 三中 2 三中 3 三中 4													
三中 38 回	S 17 年入学 S 21・22 年卒業			三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 三中 5												
三中 39 回	S 18 年入学 S 23 年卒業				三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 三中 5											
山城高 1 回	三中 S 18 年入学 山城高 S 24 年卒業				三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 三中 5 高 3											
旧制中学卒	三中 S 19 年入学 旧制中学 S 24 年卒業					三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 旧中 5										
山城高 2 回	三中 S 19 年入学 山城高 S 25 年卒業					三中 1 三中 2 三中 3 三中 4 高 2 高 3										
山城高 3 回	三中 S 20 年入学 山城高 S 26 年卒業						三中 1 三中 2 三中 3 高 1 高 2 高 3									
山城高 4 回	三中 S 21 年入学 山城高 S 27 年卒業							三中 1 三中 2 併中 3 高 1 高 2 高 3								
山城高 5 回	新中 S 22 年入学 山城高 S 28 年卒業								新中 1 新中 2 新中 3			高 1 高 2 高 3				

学制改革期の学年年表の解説

（京三中昭和十五年～二十一年入学）

平成八年発行の京三中・山城高同窓会会員名簿の中で、三中昭和十五年入学（三中三十六回）から、三中昭和二十一年入学（山城高四回）までの名簿の部分（五十三頁～百三十頁）には、同じ年度に二回の卒業生が記載されたり、同学年でありながら卒業年度が一年ずれているものがあったり、旧制中学卒や併設中学卒があるなど、当事者でなければいささか理解に苦しむ名簿の編纂になっています。そこで前頁のような学年年表（移行表）を作成しました、以下はその解説です。

京都府立京都第三中学校は五年制の男子校であった。（通称三中、京三中が正式）

（１） 三中三十六回と三十七回が昭和二十年三月に同時に卒業した。これは戦時中の学徒動員令により昭和十六年入学生が一年繰り上げて四年で卒業したことによる。

（２） 三中三十八回に昭和二十一年卒業と二十二年卒業があるのは、終戦直後の年には四年での繰り上げ卒業が引き続き認

められていたことによる。

(3) 三中昭和十八年入学生に三中昭和二十三年卒と山城高一回(昭和二十四年卒)がある。昭和二十三年四月に山城高校が発足したのに伴い、中学五年で卒業することも山城高三年に編入して翌年山城高を卒業することもできた。

(4) 三中昭和十九年入学生に旧制中学昭和二十四年卒と山城高二回(昭和二十五年卒)がある。山城高が発足した年は中学五年であり、そのまま旧制中学を卒業とすることも、山城高二年に編入して、高校二、三年を修学して山城高を卒業することもできた。

(5) 三中昭和二十一年入学生は、昭和二十二年に義務教育の新制中学(三年制)が新たに開校したため、下級生のいないまま昭和二十三年四月の山城高校の発足に伴い、山城高校併設中学三年になった。昭和二十四年三月に三年間の修学を終えて併設中学(新制)を卒業することも可能であった。

なお男女共学制の実施は昭和二十三年十月からであるので、山城高一回は約五カ月の短期間、男女共学を体験した。

新制中学校の卒業生による男女共学の授業が行なわれるのは山城高五回からである。

(山 4 乙部秋良)